

新規・継続等	新規	分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号	14	事業名	急傾斜地崩壊対策等
市町村名	小諸市		ふりがな 箇所名	やちはら 谷地原		事業年度 (完了年度は見込み)	年度～ 年度
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	現場打吹付法枠工 L=150m H=15m				H22年度末事業進捗率	0%
	H23年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	0%
	H23年度実施内容	-				用地補償費ベース	0%
	年度	全体事業費	H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降残	
	事業費計(千円)	100,000	0	0	0	100,000	
	財源内訳	国庫支出金	45,000	0	0	0	45,000
	その他	10,000	0	0	0	10,000	
	県債	40,000	0	0	0	40,000	
	一般財源	5,000	0	0	0	5,000	
箇所評価	観点	評価項目・指標等	評価			部 ランク	政策評価課 ランク
	必要性 (20)	保全対象人家戸数	20戸以上	10～19戸	10戸未満	7	7
		保全対象公共施設数	2箇所以上	1箇所	なし	C	C
		保全対象に援護者施設があるか	重要施設あり	一般施設あり	なし	0	0
		保全対象に避難所、避難経路があるか	あり	なし		0	0
		小計				7	7
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去10年に1回以上	災害履歴地	なし	0	0
		交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小	C	C
		防災計画上の位置づけ	位置づけあり	位置づけなし		2	2
	小計				2	2	
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C3.0以上	B/C1.0以上3.0未満	B/C1.0未満	A	A
		早期発現度	5年未満	5年～10年未満	10年以上	3	3
		小計				17	17
	緊急性 (25)	斜面の高さ	30m以上	10m以上30m未満	5m以上10m未満	4	4
		斜面平均勾配	45°以上	40°以上45°未満	30°以上40°未満	5	5
地質状況		崩積土、火山砕屑物、強風化岩	段丘堆積物	軟岩・その他	A	A	
斜面形状(オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形)		あり	なし		3	3	
植生の状況		不良	普通	良好	3	3	
保全対象の位置		がけ下にある	がけ上にある		2	2	
小計				21	21		
計画 熟度 (20)	地元の協力	用地等の協力が得られる	用地等の協力が概ね得られる	協力が現時点では得られていない	A	A	
	地域からの要望	高い	それほど高くない		7	10	
	小計				17	17	
費用対効果(B/C)	4.18	評価の合計			B	B	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当箇所は、(一)皿掛川左岸に位置し、平均勾配80°、がけ高さ15mの急斜面で、保全対象としてアパート3棟、人家2戸がある。また、当箇所は「田切り」と称される崖が形成されており、風化による侵食も進んでいることから、崩壊の危険性が高く、本事業により対策工を実施し、民生の安定を図るものである。					
	地域からの要望経緯	平成17年8月、小諸市よりがけ対策の要望がなされる。 平成21年9月、小諸市よりがけ対策の要望がなされる。					
	事業説明等の経緯	平成19年3月に急傾斜対策にかかわる住民説明会を開催し、区域指定等について説明。					
	環境・景観への配慮項目	斜面対策は、現場打吹付法枠工を検討しているが、斜面の安定上、支障のない既存の立木は残し、環境及び景観に配慮する予定。					
	他事業・プロジェクトとの関連	崖下の(一)皿掛川については、県単河川改修により護岸整備をする。					
特記事項	特になし。						
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他		
部意見	地元の要望もあるため事業の必要性はあるが、近年の斜面の変状が少ないため、ほかの危険箇所の着手を優先して経過観察とし、H23新規箇所としては見送りたい。			政策評価課意見	必要性がやや低い。		